

登録販売者試験

問題集

令和8年版

北陸・東海編

(富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重)

◆厚生労働省「試験問題の作成に関する手引き（令和7年4月）」対応

目次

□ 1. 令和7年度（2025年度）	問題	5
	正解&解説	50
□ 2. 令和6年度（2024年度）	問題	59
	正解&解説	102
□ 3. 令和5年度（2023年度）	問題	111
	正解&解説	156
□ 4. 令和4年度（2022年度）	問題	167
	正解&解説	211
□ 5. 令和3年度（2021年度）	問題	221
	正解&解説	265

※令和3年度のみ、三重県の問題及び正解&解説を除く。

公論出版

令和7年度（2025年）午前

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

問1 医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 人体に対して使用されない殺虫剤であっても、誤って人体がそれに曝されれば健康を害するおそれがあるものがある。
- b. 一般用医薬品は、一般の生活者が自ら選択し、使用するものであるが、一般の生活者においては、添付文書や製品表示に記載された内容を見ただけでは、効能効果や副作用等について誤解や認識不足を生じることもある。
- c. 医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が行われる仕組みになっており、それらの結果を踏まえ、リスク区分の見直しが行われることがある。
- d. 医薬品医療機器等法では、健康被害の発生の可能性の有無にかかわらず、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない旨を定めている。

	a	b	c	d
1.	正	正	正	誤
2.	正	正	誤	正
3.	正	誤	正	正
4.	誤	正	正	正
5.	正	正	正	正

問2 医薬品のリスク評価に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 少量の医薬品の投与であれば、発がん作用や臓器の機能不全を生じることはない。
- b. 製造販売後安全管理の基準として、Good Post-marketing Study Practice (GPSP) が制定されている。
- c. ヒトを対象とした臨床試験の実施の基準には、国際的に Good Clinical Practice (GCP) が制定されている。
- d. 動物実験により求められる50%致死量 (LD50) は、薬物の毒性の指標として用いられる。

1. (a、 b) 2. (a、 c) 3. (b、 d) 4. (c、 d)

〔主な医薬品とその作用〕

問21 かぜの症状緩和に用いられる漢方処方製剤のうち、マオウを含むものとして、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 葛根湯
かくこんとう
- b. 小青竜湯
しょうせいりゅうとう
- c. 半夏厚朴湯
はんげこうほくとう
- d. 桂枝湯
けいしちとう

1. (a、b) 2. (a、c) 3. (b、d) 4. (c、d)

問22 かぜ薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 解熱鎮痛成分であるアセトアミノフェンは、主として中枢作用によって解熱・鎮痛をもたらすため、末梢における抗炎症作用は期待できない。
- b. 鎮咳成分であるコデインリン酸塩水和物は、依存性がある成分である。
- c. トラネキサム酸は、体内での起炎物質の産生を抑制することで鼻粘膜や喉の炎症の発生を抑え、腫れを和らげるが、凝固した血液を溶解されやすくする働きもある。
- d. グリチルリチン酸二カリウムの作用本体であるグリチルリチン酸は、化学構造がステロイド性抗炎症成分に類似していることから、抗炎症作用を示すと考えられている。

	a	b	c	d
1.	誤	正	正	誤
2.	正	正	誤	正
3.	正	誤	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	正	誤	正	正

問23 カフェインに関する記述について、()の中に入るべき字句の正しい組み合わせはどれか。

カフェインは、脳に軽い興奮状態を引き起こし、一時的に眠気や倦怠感を抑える効果がある。また、腎臓におけるナトリウムイオンの再吸収 (a) 作用があり、尿量の (b) をもたらす。安全使用の観点から留意すべき作用に、胃液分泌 (c) 作用があり、その結果、副作用として胃腸障害が現れることがある。

- | a | b | c |
|---------------------|----|------------------|
| 1. 抑制 | 増加 | 亢進 ^{こう} |
| 2. 抑制 | 減少 | 抑制 |
| 3. 抑制 | 増加 | 抑制 |
| 4. 亢進 ^{こう} | 増加 | 亢進 ^{こう} |
| 5. 亢進 ^{こう} | 減少 | 抑制 |

令和7年度（2025年）午後

〔人体の働きと医薬品〕

問1 消化器系に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 消化器系は、飲食物を消化して生命を維持していくため必要な栄養分として吸収し、その残滓を体外に排出する器官系である。
- b. 食道の上端と下端には括約筋があり、胃の内容物が食道や咽頭に逆流しないように防いでいる。胃液が食道に逆流すると、むねやけが起きる。
- c. 胃は、上腹部にある中空の臓器で、中身が空の状態で扁平に縮んでいるが、食道から内容物が送られてくると、その刺激に反応して胃壁の平滑筋が収縮する。
- d. 脾臓は、胃の後下部に位置する細長い臓器で、^{すい}脾液を十二指腸へ分泌する。^{すい}脾液は弱アルカリ性で、胃で酸性となった内容物を中和するのに重要である。また、^{すい}脾臓は、消化腺であるとともに、血糖値を調節するホルモン等を血液中に分泌する内分泌腺でもある。

	a	b	c	d
1.	正	正	正	誤
2.	正	正	誤	正
3.	正	誤	正	正
4.	誤	正	正	正
5.	正	正	正	正

問2 肝臓に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 小腸で吸収されたブドウ糖は、血液によって肝臓に運ばれて果糖として蓄えられる。
- b. 脂溶性ビタミンであるビタミンAやD等のほか、ビタミンB6やB12等の水溶性ビタミンの貯蔵臓器でもある。
- c. アルコールは、胃や小腸で吸収されるが、肝臓へと運ばれて一度酢酸に代謝されたのち、さらに代謝されてアセトアルデヒドとなる。
- d. 必須アミノ酸以外のアミノ酸を生合成することができる。

1. (a、 b) 2. (a、 c) 3. (b、 d) 4. (c、 d)

問19 医薬品の副作用に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 医薬品の副作用が原因の無菌性髄膜炎は、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、関節リウマチ等の基礎疾患がある人で発症リスクが高い。
2. イレウス様症状は、胃や十二指腸の粘膜組織が傷害されて、粘膜組織の一部が粘膜筋板を超えて欠損する状態であり、医薬品の副作用により生じることも多い。
3. 間質性肺炎は、一般的に、医薬品の使用開始から1～2週間程度で起きることが多い。かぜや気管支炎の症状と区別が難しいこともあり、細心の注意を払ってそれらとの鑑別が行われている。
4. 喘息では、原因となる医薬品の使用後、短時間（1時間以内）のうちに鼻水・鼻づまりが現れ、続いて咳、^{せき}喘鳴（息をするとき喉がゼーゼー又はヒューヒュー鳴る）及び呼吸困難を生じる。^{ぜん}

問20 医薬品の副作用に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. うつ血性心不全とは、心筋の自動性や興奮伝導の異常が原因で心臓の拍動リズムが乱れる病態で、めまい、立ちくらみ、全身のだるさ（疲労感）、動悸、息切れ、胸部の不快感、脈の欠落等の症状が現れる。
- b. 交感神経系の機能を抑制する作用がある成分が配合された医薬品を使用すると、尿が出にくく、尿が少ししか出ない、残尿感がある等の症状を生じることがある。
- c. 接触皮膚炎は、いわゆる「肌に合わない」という状態であり、外来性の物質が皮膚に接触することで現れる炎症である。同じ医薬品が触れても発症するか否かはその人の体質によって異なる。
- d. 薬疹は、医薬品によって引き起こされるアレルギー反応の一種で、発疹・発赤等の皮膚症状を呈する場合をいう。^{しん}

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (b, d) 4. (c, d)

〔薬事に関する法規と制度〕

問21 医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 動物の疾病的治療に使用されることが目的とされている物は、医薬品医療機器等法の規制対象外である。
- b. 日本薬局方とは、厚生労働大臣が医薬品の性状及び品質の適正を図るために、薬事審議会の意見を聴いて、保健医療上重要な医薬品について、必要な規格・基準及び標準的試験法等を定めたものである。
- c. 「無承認無許可医薬品」は、医薬品医療機器等法第2条第1項で定義する医薬品に該当する。

	a	b	c	d
1. 正	正	誤	誤	
2. 誤	正	正	誤	
3. 誤	誤	正	正	
4. 誤	誤	誤	誤	正
5. 正	誤	誤	誤	

〔医薬品の適正使用・安全対策〕

問41 一般用医薬品の適正使用情報に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品は、効能・効果、用法・用量、起こり得る副作用等、その適正な使用のために必要な情報（適正使用情報）を伴って初めて医薬品としての機能を発揮するものである。
- b. 薬剤師又は登録販売者が、購入者等へ情報提供を行う際は、添付文書や製品表示に記載されている内容から、積極的な情報提供が必要と思われる事項に焦点を絞り、効果的かつ効率的な説明がなされることが重要である。
- c. 一般用医薬品の添付文書や製品表示に記載されている適正使用情報は、医薬品の販売に従事する薬剤師や登録販売者向けの専門的な表現で記載されている。
- d. 医薬品医療機器等法の規定により、一般用医薬品には、添付文書又はその容器若しくは被包に、「用法、用量その他使用及び取扱い上の必要な注意」等の記載が義務づけられている。

	a	b	c	d
1.	誤	正	正	誤
2.	正	誤	正	正
3.	誤	正	誤	正
4.	正	誤	正	誤
5.	正	正	誤	正

問42 一般用医薬品の添付文書に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 添付文書の内容は、医薬品の有効性・安全性等に係る新たな知見、使用に係る情報に基づき、1年に1回定期的に改訂がなされている。
2. 重要な内容が変更された場合には、改訂年月を記載するとともに改訂された箇所を明示することとされており、以前からその医薬品を使用している人が、添付文書の変更箇所に注意を払うことができるようになっている。
3. 令和3年8月1日から、医療用医薬品への紙の添付文書の同梱を廃止し、注意事項等情報は電子的な方法により提供されることとなったが、一般用医薬品には、引き続き紙の添付文書が同梱される。
4. 販売名に薬効名が含まれているような場合には、薬効名の記載は省略されることがある。

令和7年度（2025年）午前 正解&解説

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

問1 正解：5 (a. 正：b. 正：c. 正：d. 正)

問2 正解：4 (a. 誤：b. 誤：c. 正：d. 正)

- a. 少量の医薬品の投与でも、発がん作用や臓器の機能不全を生じる場合がある。
- b. 製造販売後安全管理の基準は、**Good Vigilance Practice (GVP)**。GPSPは、**製造販売後の調査及び試験の実施の基準**である。

問3 正解：4 (a. 正：b. 誤：c. 誤：d. 正)

- b. 記述の内容は、**機能性表示食品**。
- c. 記述の内容は、**栄養機能食品**。

問4 正解：5 (a. 正：b. 誤：c. 正：d. 正)

- b. 薬理作用がない添加物も、アレルギーを引き起す**原因物質（アレルゲン）**となり得る。アレルゲンとなり得る添加物には、黄色4号（タートラジン）、カゼイン、亜硫酸塩（亜硫酸ナトリウム、ピロ硫酸カリウム等）等がある。

問5 正解：4

4. 令和4年1月の見直しにより、スイッチOTC医薬品以外にも**腰痛や肩こり、風邪やアレルギーの諸症状に対応する一般用医薬品**が税制の対象となっている。

問6 正解：5 (a. 誤：b. 正：c. 正：d. 正)

- a. **眠気や口渴等**は、比較的よく見られる**副作用**である。

問7 正解：2

2. 一般用医薬品にも**習慣性・依存性**がある成分を含んでいるものがあり、一度、薬物依存が形成されると、そこから**離脱**することは**容易ではない**。

問8 正解：1

1. 複数の医薬品を併用した場合、医薬品の作用が増強したり、**減弱**したりする。

問9 正解：4 (a. 正：b. 正：c. 正：d. 誤)

- d. 外用薬や注射薬であっても、食品によって医薬品の作用や代謝に**影響を受ける可能性**がある。

問10 正解：3

3. 「70歳以上」⇒「**65歳以上**」。

問11 正解：2 (a. 正：b. 誤：c. 正：d. 正)

- b. 「吸收率が相対的に低い」⇒「吸收率が相対的に高い」。

問12 正解：3

3. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、**望ましいもの（効果）**と**不都合なもの（副作用）**とがある。

問13 正解：4 (a. 正：b. 正：c. 正：d. 誤)

- d. 授乳婦が使用することで**乳幼児に好ましくない影響が及ぶ可能性がある医薬品**については、授乳期間中の**使用を避ける**必要があるが、すべての医薬品というわけではない。

問14 正解：1

1. 「生活習慣病の治療」⇒「**生活習慣病等の疾病に伴う症状発現の予防**」。

◎一般用医薬品の役割は全部で6つあり、2～5の他、「その他保健衛生」がある。

問15 正解：2 (a. 正：b. 正：c. 誤：d. 正)

- c. 一般用医薬品にも、使用すれば**ドーピングに該当する成分を含んだもの**がある。

問16 正解：1 (a. 正：b. 正：c. 正：d. 誤)

- d. 医薬品に表示されている「**使用期限**」は、**未開封状態**で保管された場合に品質が保持される期限である。

問17 正解：3 (a. 正：b. 正：c. 誤：d. 誤)

- c. 副作用として血管新生を妨げる作用もあった。
- d. 催奇形性の原因となる血管新生を妨げる作用は、一方の異性体（S体）のみが有する作用であり、もう一方の異性体（R体）にはない。しかし、R体とS体は体内で相互に転換するため、R体のサリドマードを分離して製剤化しても**催奇形性は避けられない**。

問18 正解：3 (a. 誤：b. 正：c. 誤：d. 正)

- a. CJDは、細菌でもウイルスでもない**タンパク質の一種であるプリオン**が原因とされている。
- c. 「ウシ乾燥硬膜」⇒「**ヒト乾燥硬膜**」。

問19 正解：3

3. 「グロブリン製剤」⇒「**フィブリノゲン製剤**」。